

# 下水道とは？

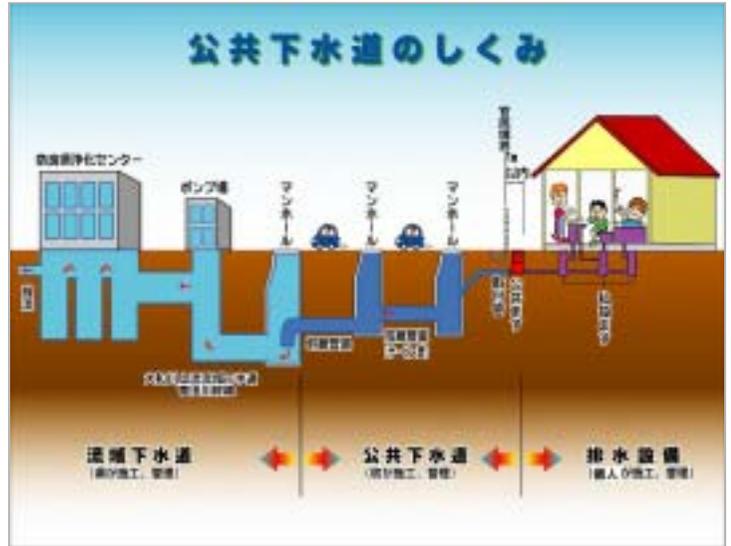
## 公共下水道のしくみについて

公共下水道とは、生活排水や工場等の汚水を集めて処理し、きれいにした後、再び川や海へ戻すために、設置される汚水処理施設のことをいいます。汚水処理施設には公共下水道のほかに、合併処理浄化槽、コミュニティプラント、農業集落排水などがあり、それぞれの地域の特徴に応じて事業が進められています。

奈良県では、広域的な下水道整備により、水質汚濁を防止し、快適な生活環境を創造するために、昭和45年度に大和川上流流域下水道事業に着手しました。

流域下水道とは、市町村のわくを越え、広域のかつ効率的な下水の排除、処理を目的としたものです。

斑鳩町はこの流域下水道事業の対象市町村の1つとして、平成3年に事業認可を受け、事業を進めてきました。



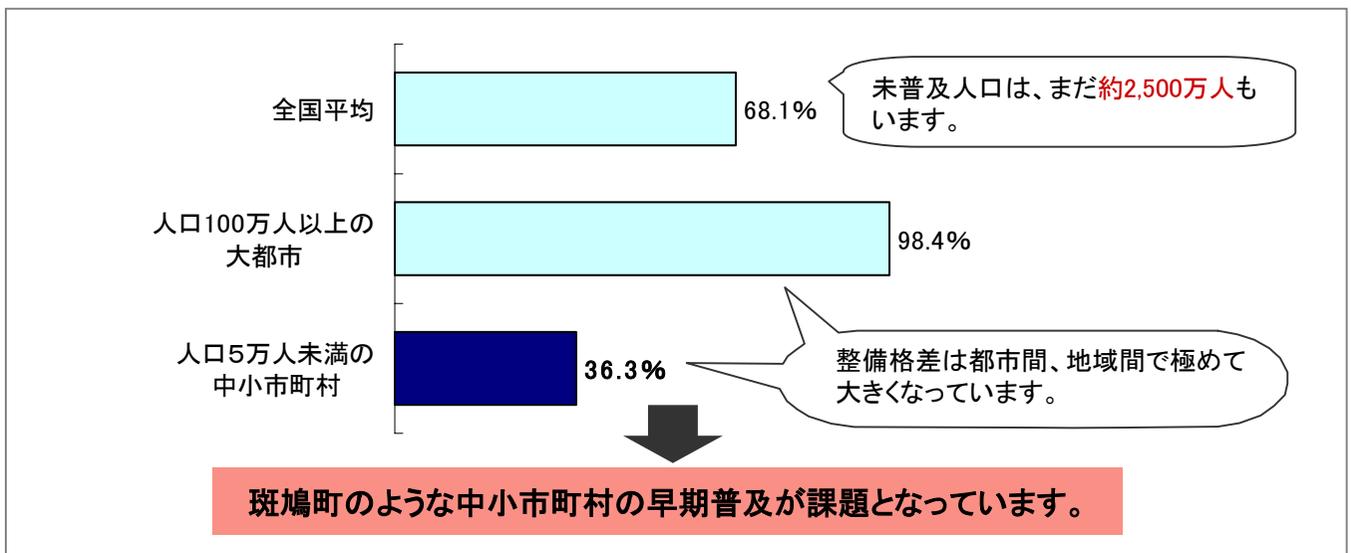
## 公共下水道の普及状況について

全国下水道処理人口普及率は、68.1% (平成16年度末)、奈良県の場合、全国平均よりもやや低い66.4%です。人口5万人未満の都市の普及率を

見てみると36.3%であり、人口100万人以上の大都市の普及率に比べて中小市町村の下水道整備は遅れています。

### 〔斑鳩町の下水道普及状況〕

斑鳩町では、平成17年4月によりやく一部の地域で下水道が使えるようになり、普及率は約19% (平成17年4月現在)となっています。



(国土交通省作成「下水道の多様な役割」を参考)